

日本古典籍の目録情報募集中！

貴館の古典籍目録を 国書データベースに 載せてみませんか？



資料所蔵機関の皆様、
ご興味のある皆様へ



何を
何なに？
詳しく！

Q 何を提供すれば良いですか？
電子化された書誌データや画像はありません。



必要な
作業は？

A 目録は紙・電子いずれもOK！
国文研が採録します！

冊子目録、Excel、PDF、NCデータなど、
さまざまな形式から採録可能です。

画像は無くてもOK！書誌情報があれば公開できます！

Q 国書データベースへの掲載には
どんなメリットがありますか？



自館のウェブ
サイトでの
公開との
違いは？

A 個々の書誌情報は著作情報とリンクし、
他機関所蔵資料とともに
検索・表示の対象となります。

利用者が見つけやすくなり利活用が増加、
所蔵古典籍の知名度アップにつながります！

国内外を問わず目録収録実績多数！
収録他機関所蔵目録一覧はコチラ
<https://kokusho.nijl.ac.jp/page/owners.html>



たくさん
あるなあ

国書データベース
の詳細は裏面へ→

手続きは
簡単！



探していた
あの本が

〇〇図書館に
あるんだって

なんと！



国書データベースとは

「国書データベース」は世界最大級の日本古典籍データベースです。「日本古典籍総合目録データベース」と「新日本古典籍総合データベース」を統合し、2023年に誕生しました。

国文学研究資料館をはじめ、国内外の大学や研究機関、専門機関、自治体、個人が所蔵する日本古典籍の画像と書誌情報を公開しています。主に江戸時代までの本が中心ですが、2024年に「近代書誌・近代画像データベース」を統合し、近代の資料の画像と情報も増えています。

所蔵機関・個人のご協力の結果、2025年現在、**約30万点の画像と約95万件の書誌情報**を公開することができています！

また、2024年度から開始した大規模学術フロンティア促進事業「データ駆動による課題解決型人文学の創成」（略称：国文研DDHプロジェクト）では、15万点の画像の新規公開やAIを活用したテキスト化などに取り組んでいます。



<https://kokusho.nijl.ac.jp/>



お蔭様で
随分大きく
なったのね



これからも
充実させます

何卒よろしく
お願いします

書誌作成について

くずし字を解読できる当館スタッフが、データベースで検索・利用するために必要な「書名」、「著者名」、「所蔵者」などの様々な書誌データを整備しています。他機関所蔵目録からの収載作業においては、提供いただいた書誌情報を国書データベースの書誌項目に合わせて加工し、著作情報への紐付けを行っています。

また、「メタデータ流通ガイドライン（古典籍編）」や日本古典籍のデジタルアーカイブに対応した「JPCOARスキーマ2.0」の編纂に関わるなど、国立国会図書館・オープンアクセスリポジトリ推進協会（JPCOAR）とともに日本古典籍に関する書誌の標準化に貢献しています。



お問い合わせ先

国文学研究資料館 メタデータ係

E-MAIL: metadata@nijl.ac.jp

〒190-0014東京都立川市緑町10-3

TEL: 050-5533-2931 FAX: 042-526-8606

URL: <https://www.nijl.ac.jp/>

メールで
さらに
詳しく
読んで
みよう



この目録も
載せたいな

